

商工第 197 号  
令和 4 年 11 月 18 日

岩手県商工会議所連合会 会長  
岩手県商工会連合会 会長  
岩手県商店街振興組合連合会 会長  
岩手県中小企業団体中央会 会長  
一般社団法人岩手経済同友会 代表幹事  
一般社団法人岩手県工業クラブ 会長  
公益財団法人岩手県観光協会 理事長  
公益財団法人いわて産業振興センター 理事長

様

岩手県商工労働観光部長

岩手県新型コロナウイルス感染症対策に係る知事メッセージ等について  
本日、岩手県新型コロナウイルス感染症対策本部第 65 回本部員会議が開催されましたので、関係資料を送付いたします。

つきましては、貴会等におかれましても、本会議での報告内容や知事メッセージ等について御了知いただき、会員等の皆様へ一層の感染対策や産業支援等に御尽力いただくことについての周知徹底に御協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

担当：商工企画室 管理課長 藤枝  
電話：019-629-5526

新型コロナウイルス感染症対策本部 第 65 回本部員会議  
知事メッセージ（令和 4 年 11 月 18 日）

県内の感染状況は、本日（11 月 18 日現在）、人口 10 万人当たりの新規感染者数が 628 人となり、1 日の新規感染者数が 8 月以来 1,500 人を超える日があるなど、県内で最も感染が拡大した 8 月、9 月の感染状況に迫る状況となっています。

夏の感染拡大時には、感染者数の増加とともに、医療従事者の感染や濃厚接触により、医療機関における人員体制の不足が生じるなど、コロナの感染拡大が、コロナ医療のみならず、救急医療などの一般医療にも影響しました。

現在、医療現場に係る負荷が高まっています。医療のひっ迫を避けるため、新規感染者が増えないよう感染対策の徹底をお願いします。

今般、岩手県新型コロナウイルス感染症専門委員会から、感染対策について、アドバイスを頂きました。県対策本部として「感染対策の徹底と事前の備えのお願い」を作成しましたので、県民や事業者の皆様実践して頂きますようお願いいたします。

特に、お願いしたい事項は次のとおりです。

- ・ 年末年始は人と接触する機会が増えますので、オミクロン株対応ワクチン接種希望の方は、早期に接種頂きますようお願いいたします。
- ・ 気温が下がり寒い季節になりましたが、窓や扉の開放、空気清浄機による室内の換気、湿度の調節を心掛けるようお願いいたします。
- ・ こまめな手洗い、咳エチケット、会食を含め場面に応じた不織布マスクの着用をお願いいたします。
- ・ 自宅療養に備え、抗原定性検査キットや解熱鎮痛薬の準備をお願いいたします。症状がある 65 歳未満の方は、「いわて検査キット送付センター」に御連絡いただければ、検査キットを送付します。
- ・ 医療機関を受診する場合は、可能な限り平日・日中に相談・受診して頂きますようお願いいたします。

県民の皆様には、一人ひとりが場面場面に応じた感染対策を徹底して頂くようお願いいたします。

令和 4 年 11 月 18 日  
岩手県知事 達増 拓也

# 感染対策の徹底と事前の備えのお願いについて

令和4年11月18日  
岩手県新型コロナウイルス感染症対策本部

県内の感染状況は、県内で最も感染が拡大した8月、9月に迫る状況となっています。

県民の皆様には、感染防止策の徹底と事前の備えをお願いします。

- ・ こまめな手洗い、咳エチケット、場面に応じた不織布マスクの着用をお願いします。
- ・ 寒い季節ですが、常時、窓や扉を少し開けた連続的な外気の取り入れや、空気清浄機の活用などにより、温度や湿度を維持しつつ、室内の換気を心がけるようお願いします。(別紙「感染防止のための効果的な換気について」参照)
- ・ 咽頭痛、咳、発熱など体調不良時は外出を避けるようお願いします。
- ・ 会合等の開催に当たっては、密閉・密集・密接の一つの要素もないようお願いします。
- ・ 会食は、短時間で、深酒をせず、大声を出さず、会話の時はマスクを着用するようお願いします。
- ・ 飲食店利用については、感染対策が整っている「いわて飲食店安心認証」店の利用を推奨します。
- ・ 職場においては、あらためて、在宅勤務（テレワーク）、ローテーション勤務、時差出勤等による人との接触の低減をお願いします。
- ・ 年末年始は人と接触する機会が増えるため、オミクロン株対応ワクチン接種希望の方は、早めの接種をお願いします。
- ・ 自宅などにおいて抗原定性検査キットや解熱鎮痛薬の準備をお願いします。

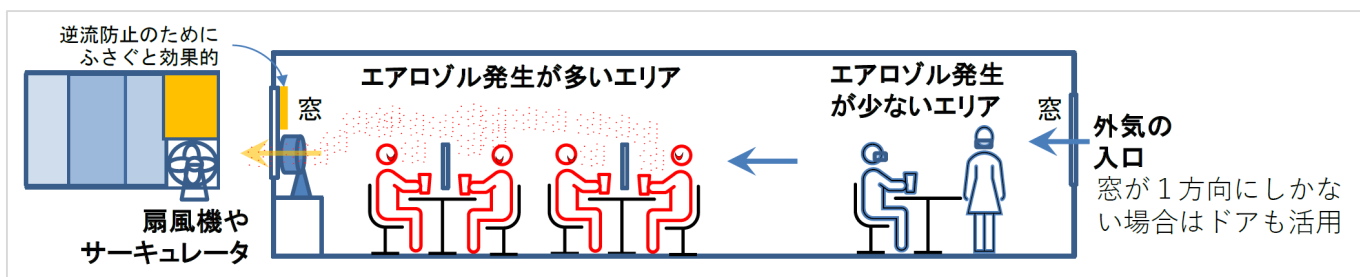
# 感染防止のための効果的な換気について



## 【エアロゾル感染を防ぐ空気の流れ】

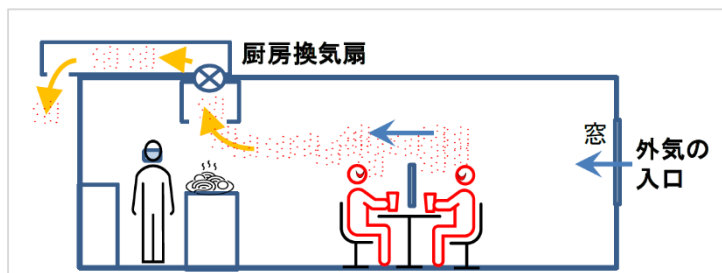
### 《窓が2方向にある場合》

エアロゾル発生が多い（会話が多くの、人の密度の高い）エリアから扇風機やサーキュレーターで排気し、反対側から外気を取り入れる。



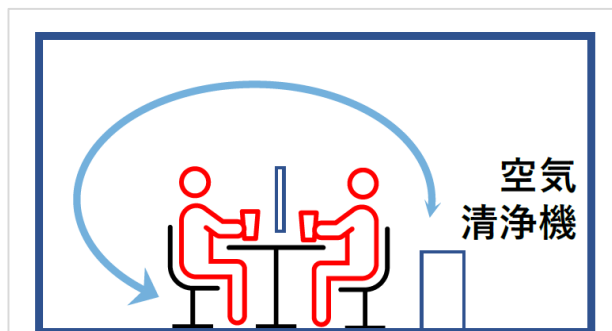
### 《換気扇がある場合》

換気扇で排気し、反対側から外気を取り入れる。



### 《換気扇・窓がない場合》

空気清浄機でエアロゾルを捕集。



※「エアロゾル」は、空中に浮遊する粒子をいい、「エアロゾル感染」とは、ウイルスを含むエアロゾルを吸引することで感染することをいう

【参考】

国の新型コロナウイルス感染症対策分科会「感染拡大防止のための効果的な換気について」（令和4年7月14日）

## 医療機関負担軽減のための受診協力（平日、日中受診など）のお願い

### 1 趣 旨

県内における新型コロナウイルス感染症の感染再拡大を受け、医療従事者の感染や濃厚接触による医療機関における人員体制の不足が生じており、コロナ医療のほか、救急医療などの一般医療にも影響が出始めていることから、感染拡大の防止と医療機関の負担軽減を図るため、県民に対し、基本的な感染対策の徹底や体調不良時の相談・受診について、県と岩手県医師会が共同で以下のとおり情報発信を行っているところ。

### 2 主な内容

- 基本的な感染対策のお願い（手洗いやマスク着用などの緊張感を持った健康管理の徹底、職場・家庭での換気や湿度調整の実施）  
※換気や湿度調整を行う際の注意点（室温 18℃以上、湿度 40%以上）も発信
- 発症や重症化を防ぐ効果の持続のため、ワクチン接種を希望される方への早期接種の呼びかけ
- 発熱など体調不良時のいわて検査キット送付センターの活用や症状継続時の診療・検査医療機関などへの相談・受診
- 医療機関に負担がかからないよう、可能な限りの平日・日中の相談・受診

### 3 情報発信の状況

上記内容について、以下の方法による県民への情報発信を随時実施中。

- 県HPによる発信（11/10～ 広報用チラシ等を掲載）
- 新聞広告を活用した発信（11/23 岩手日報へ掲載予定）
- SNSを活用した発信（11/10～ 県コロナ公式 LINE、Twitter で発信（以降随時））
- 市町村へのチラシ配布による市町村広報などを活用した発信（11/10 市町村広報誌やHP、SNSなどを活用した住民への周知を依頼）



コロナの感染拡大等により医療機関への負担が増えています

# 基本的な感染対策等の徹底

に改めてご協力をお願いします

## 基本的な感染対策のお願い

- 同時流行が懸念されるインフルエンザにも有効ですので、**手洗いや場面に応じた適切なマスクの着用など、緊張感をもって日々の健康管理の徹底**をお願いします。
- **職場や家庭などでの換気や湿度調整に注意**をお願いします。



換気や湿度調整は、「室温18C以上、湿度40%以上」を目安に！！

- 発症や重症化を防ぐ効果を持続させるため、**ワクチン接種を希望される方は早めの接種**をお願いします。

## もし発熱等体調が悪い場合には

- 症状がある65歳未満の方は、**いわて検査キット送付センターの活用**が可能です。

いわて検査キット送付センター

検索

症状が続く場合には、**診療・検査医療機関などへの相談・受診**をお願いします。

- 医療機関に負担がかからないよう、**可能な限り平日・日中の相談・受診**にご協力をお願いします。

新型コロナに係る各種情報

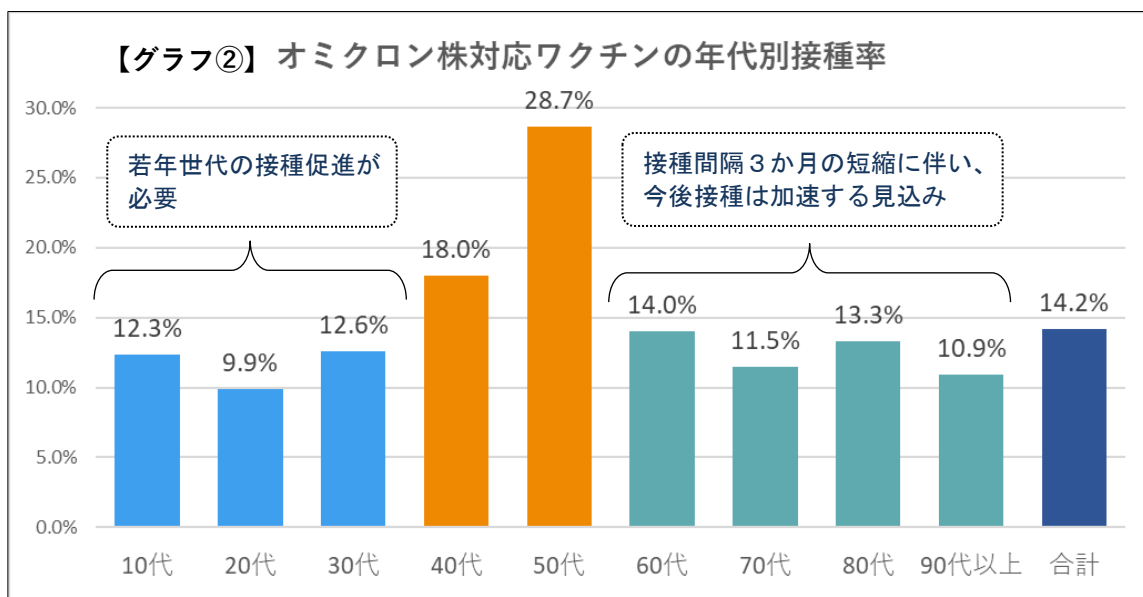
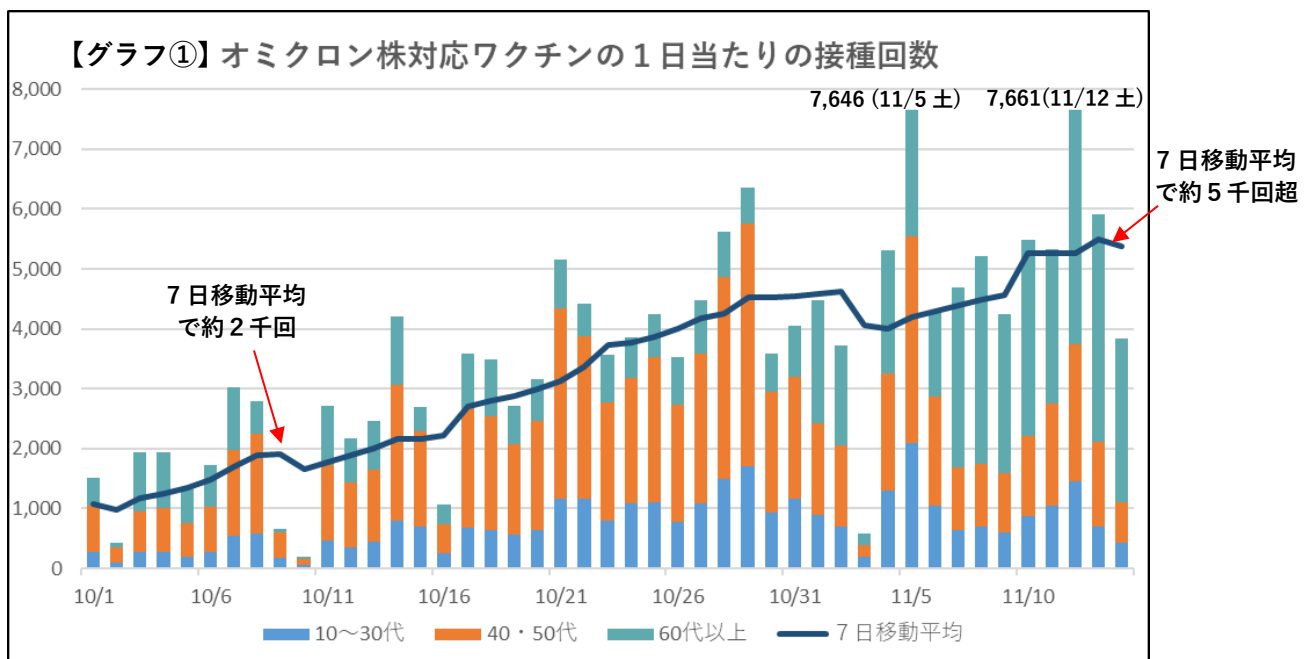


令和4年11月10日

## オミクロン株対応ワクチンの接種について

### 1 オミクロン株対応ワクチンの接種状況

- (1) オミクロン株対応ワクチンについて、県内では、11月16日時点で約17万回の接種が実施されており、全人口に占める接種率は14.2%で、全国の接種率11.0%を上回っている。
- (2) また、1日当たりの接種回数は順調に増えており、年内の接種完了に向けて、医師会や医療機関と連携し、更なる接種の加速に取り組んでいく。【グラフ①】
- (3) 年齢別でみると、50代が28.7%と最も高くなっているが、前回からの接種間隔が3か月に短縮されたことに伴い、今後は60代以上の接種が加速していく見込み。  
一方、若年世代の接種率が低位に推移していることから、県医師会と連携し、SNSやテレビ、新聞広告等により、広くワクチン接種を呼びかけていく。【グラフ②】



## 2 今後の取組方向

### (1) 医療従事者の広域派遣調整

市町村におけるワクチン接種従事者の確保を支援するため、県医師会や関係医療機関等と連携し、医療従事者の広域派遣調整を実施していく。

【派遣見込み(11~12月)】 派遣先：1町、派遣人数：医師延べ4名

### (2) 県集団接種の実施

オミクロン株対応ワクチン接種の加速を図るため、12/3(土)、4(日)の集団接種では、予約枠を2,400回程度まで拡大するほか、現役世代や若年世代の接種を促進するため、接種対象者を2名以上確保できる県内の企業、団体、大学、専修学校、その他のグループ等を対象とした団体接種を継続して実施していく。

#### 【県集団接種における3~5回目実績】

接種期間	使用したワクチン	接種回数
9/24~11/6	モデルナ社2価ワクチン(BA.1対応)他	3,904回

#### 【団体接種の実績・予約状況】

接種日	延べ申込団体数	接種実績・予約状況
9/24(土), 25(日)	2団体	172回
11/5(土), 6(日)	5団体	179回
11/19(土), 20(日)	5団体	448回
合計	12団体	799回

#### 【今後の実施予定】

接種日 (接種会場)	予定回数		予約状況(11/17(木)現在)	
			予約人数	予約率
11/19(土), 20(日) (ツガワ未来館アピオ)	1,800回程度	一般 800回程度	1,800人	100.0%
		団体 1,000回程度		
12/3(土), 4(日) (ツガワ未来館アピオ)	2,400回程度	一般 1,800回程度	203人	8.5%
		団体 600回程度		

※ 令和5年1月以降は、市町村の接種の進捗状況や国の動向を踏まえ、検討していく。

11/17(木)から予約開始



〈 新型コロナワクチン接種 〉  
 オミクロン株に対応した  
 2価ワクチンの接種が開始されました。



接種可能な間隔が  
**3か月** になりました!  
**年内** ぜひ、  
 の接種をご検討ください。

接種の対象と使用するワクチン

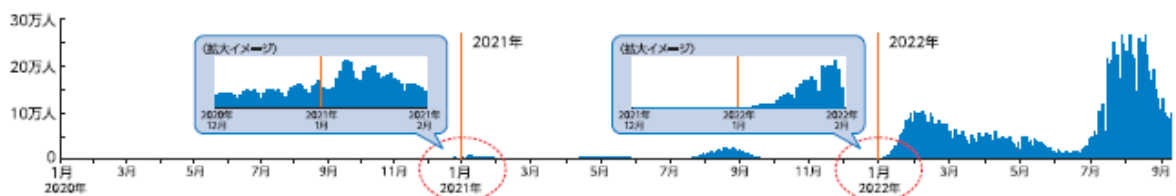
- 新型コロナの従来株とオミクロン株に対応したワクチン（「オミクロン株対応2価ワクチン」）の接種は、**初回接種（1・2回目接種）を完了した12歳以上の全ての方が対象で、一人1回接種**できます。
- 1・2回目接種を完了した、もしくは前回の接種日から3か月以上（※）経過している方は、接種可能になりました。  
 （※）5か月から3か月に短縮されました。
- 例えば、9月15日に従来型ワクチンを接種した方は、12月15日からオミクロン株対応2価ワクチンを接種できます。
- 詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。

〈 オミクロン株対応2価ワクチンの種類 〉	1・2回目接種対象者	3回目以降の接種対象者	
		12歳以上	18歳以上
ファイザー社ワクチン 【BA.1対応型/BA.4-5対応型】	×（使用不可）	○	○
モデルナ社ワクチン 【BA.1対応型】	×（使用不可）	×	○

（※）2022年10月時点では、オミクロン株対応2価ワクチンは、11歳以下は接種対象となりません。

これまで2年間、年末年始に新型コロナは流行しています。**2022年の年末まで**に、重症化リスクの高い高齢者のもとより、**若い方にも**オミクロン株対応2価ワクチンによる接種を完了するようおすすめします。

〈 日本国内の新規感染者数（1日ごと） 〉



出典：厚生労働省ホームページ「国内の発生状況」をもとに作成

〈 諸外国において推奨されている、オミクロン株対応ワクチンの前回の接種からの接種間隔 〉

出典:厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会資料 より

国	推奨の発表機関(※)	推奨の発表日	前回の接種からの接種間隔
日本	厚生科学審議会	2022/10/20	3か月以上
英国	JCVI	2022/8/15	3か月以上
米国	CDC/FDA	2022/8/31	2か月以上
カナダ	NACI	2022/9/1	3か月以上
イスラエル	保健省	2022/9/20	3か月以上
フランス	保健省	2022/10/6	3か月以上
ドイツ	STIKO	2022/10/6	3か月以上

(※) JCVI: 予防接種・ワクチン合同委員会  
NACI: 予防接種に関する諮問委員会

CDC: 疾病予防管理センター  
STIKO: 予防接種諮問委員会

FDA: 食品医薬品局

(2022年10月17日時点)

## オミクロン株対応2価ワクチンの種類と効果

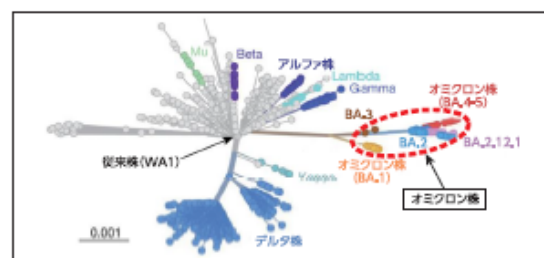
**2種類の2価ワクチン(BA.1対応型/BA.4-5対応型)が使用可能ですが、いずれも従来型ワクチン(※)を上回る効果が期待されます。**

(※)新型コロナウイルスの従来株に対応した1価ワクチン

2価ワクチンは、従来株の成分に加え、オミクロン株の成分が含まれています。オミクロン株の成分に2つの種類(BA.1とBA.4-5)があるため、2種類のワクチンがあります。その効果は以下の通りです。

- BA.1、BA.4-5は、いずれもオミクロン株の種類(亜系統)です(右図参照)。そのため、BA.1 対応型であっても、BA.4-5 対応型であっても、現在流行の中心であるオミクロン株に対しては、1価の従来型ワクチンを上回る効果が期待されています。
- また、BA.1 対応型であっても、BA.4-5 対応型であっても、従来株とオミクロン株の2種類の成分があることにより、誘導される免疫も、より多様な新型コロナウイルスに反応すると考えられます。

〈 新型コロナウイルスの変異株の枝分かれ(系統樹) 〉



(※) 出典をもとに改変

出典: Wang, Q., Guo, Y., Eketani, S. et al. Antibody evasion by SARS-CoV-2 Omicron subvariants BA.2.12.1, BA.4 and BA.5. Nature 608, 603-608 (2022).

## オミクロン株対応2価ワクチンの安全性

ファイザー社及びモデルナ社の2価ワクチンの薬事承認において、どちらのワクチンも従来型ワクチンとおおむね同様の症状が見られました。

〈 接種後7日間に現れた症状 〉

出典: 特例承認に係る報告書より改変

発現割合	症 状	
	ファイザー社	モデルナ社
50%以上	注射部位疼痛	注射部位疼痛、疲労
10~50%	疲労、筋肉痛、頭痛、悪寒、関節痛	頭痛、筋肉痛、関節痛、リンパ節症、悪寒、悪心・嘔吐
1~10%	下痢、発赤、腫脹、発熱、嘔吐	紅斑・発赤、腫脹・硬結、発熱

### ◎ ワクチンを受けるにはご本人の同意が必要です。

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご本人の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします。受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。

職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。

### ◎ 予防接種健康被害救済制度があります。

予防接種では健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、厚生労働省ホームページの「新型コロナワクチンについて」のページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン

検索



ホームページをご覧にならない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

# 6か月から4歳のお子様の保護者の方へ

2022年10月

## 〈新型コロナワクチン接種に関するお知らせ〉



6か月から4歳のお子様も、



新型コロナワクチン接種を受けられるようになりました。

まずはこのリーフレットをお読みになり、ワクチン接種を受けるかどうか、接種する際の注意点などについて、ご参考としてください。

### 使用するワクチンと接種方法

#### ◎ 使用するワクチン

6か月から4歳用のファイザー社製ワクチンを使用します。「成人用」や「5歳から12歳用」とは接種分量が異なり、オミクロン株対応ではありません。キャンセルされる場合は、必ず早めのご連絡をお願いします。

母子健康手帳（岩手県版）

#### ◎ 接種回数

通常、1回目接種から3週間の間隔をあけて2回目接種を行い、さらに8週間以上の間隔をあけて3回目接種を行います。（3回接種＝1セットです）ほかの予防接種との間隔に注意が必要です。

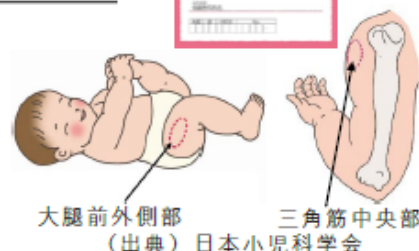
接種会場には必ず母子手帳の持参をお願い致します。

また、接種期間は令和5年3月31日までです。期間内に3回接種するためには令和5年1月13日までに1回目の接種を終える必要があります。



#### ◎ 接種方法

接種方法は筋肉内注射です。6か月から2歳のお子さんや3歳以上でも筋肉量が少ないお子さんには大腿前外側（ふともも）に接種することがあります。3歳以上ではおもに上腕三角筋中央部に接種します。



大腿前外側部

三角筋中央部

（出典）日本小児科学会

### Q&A

#### Q1：なぜ、乳幼児（6か月～4歳）の接種が必要なのですか？

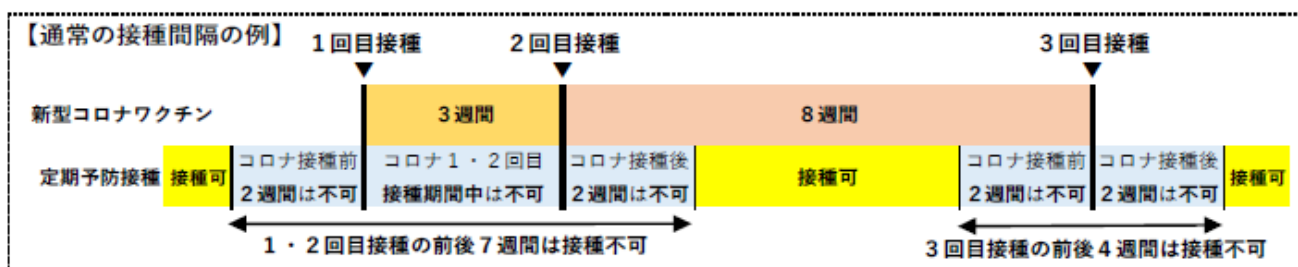
A1：乳幼児（6か月～4歳）では重症例の割合は少ないものの、新規感染者の増加に伴い重症例の報告も増えています。また、基礎疾患がある乳幼児では重症化するリスクが高くなると言われており、接種の機会を提供することが望ましいと考えられます。

#### Q2：乳幼児（6か月～4歳）の接種において、副反応など気を付けることはありますか？

A2：ワクチン接種時の緊張や痛みなどにより血管迷走神経反射が起こり、血圧の低下や脈拍の減少などが生じることがあります。意識が低下したり、失神することもあります。ワクチンに対するアレルギー症状と直接の関連はありません。立ちくらみが生じやすいお子さんや、以前に採血や注射などで似たような症状を経験された場合には接種前に申し出てください。ごくまれにですが、アナフィラキシーショックが起こることがあるため、接種後の経過観察を行います。観察中に気になる症状がみられる場合には遠慮なくお近くのスタッフに声をかけてください。ごくまれに、10代および20代で心筋炎や心膜炎が報告されていますが、軽症で回復しています。ただし胸の痛みや動悸、息切れ、むくみなどの症状がみられた場合は速やかに医療機関を受診してください。なお海外の5歳未満児約2,000人のファイザー社のデータによると、主な副作用は発熱、嘔吐、痛みで、3%程度と低く全員回復し重大な懸念は認められていませんが、このワクチンは新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。

Q3：定期予防接種を受けましたが、新型コロナワクチンとの間隔はどれくらい必要ですか？

A3：定期予防接種と新型コロナワクチンは、2週間の間隔をあける必要があります。他方、インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンは2週間の間隔をあけることなく、同時接種も認められています。予めかかりつけ医とよくご相談のうえで接種計画を立ててから申し込んでください。



Q4：定期予防接種と新型コロナワクチン接種とどちらを優先すべきでしょうか？

A4：どちらも大事なワクチンです。定期予防接種は感染症にかかりやすい年齢などをもとに、標準的な接種期間が定められており、接種機会を逃すと費用が自己負担になる場合もあります。普段予防接種を行っているかかりつけ医と接種スケジュールをよくご相談のうえで決めてください。

Q5：食物アレルギーがあるのですが大丈夫でしょうか？

A5：基礎疾患やアレルギーのある方が必ずしもアナフィラキシーを起こすわけではありません。

Q6：ワクチンが原因で新型コロナウイルスに感染することはありますか？

A6：このワクチンで新型コロナウイルスに感染することはありません。mRNAからはウイルスの一部（スパイクタンパク質）しか生じません。ワクチンによってウイルスの構造全体が作られることはありません。

Q7：ワクチンが原因で不妊になるといううわさを聞いたのですが…

A7：このワクチンのmRNAは数分から数日で体内で分解されるといわれています。また、mRNAが人の遺伝情報（DNA）に組み込まれるものではありません。人の遺伝情報（DNA）からmRNAが作られる仕組みは一方通行で、逆方向に進むことはありません。ワクチンのmRNAが体内に長期に残ったり、精子や卵子の遺伝情報に取り込まれることはないと考えられています。

Q8：ワクチンは絶対に接種しなければいけないものなのでしょうか？

A8：難しい質問ですが、ワクチンによるメリットとデメリットを考慮して総合的に判断する必要があります。ご家庭によって事情も異なり、基礎疾患の有無や重症度、社会的環境なども違います。若年者は感染しても軽症の割合が高いことも確かです。一方、だれにでも「万が一」のことは起こるかもしれませんし、基礎疾患のある方やご家族が不安に思われているのも事実です。

考えるきっかけとしてこのリーフレットをご利用いただき、必要に応じてかかりつけの医療機関などにも相談して決めてください。ワクチン未接種で差別を受けたり、その人自身が否定されることはあってはなりません。これらをよくお考えのうえで接種するかしないかを判断してください。また、保護者の方の同意なく、接種が行われることはありません。

### ◎予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。まれではあるものの、なかなか無くすことはできないことから救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金の給付など）が受けられます（※）。申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

（※）その健康被害が、接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときは、市町村により給付が行われます。認定にあたっては、予防接種・感染症・医療・法律の専門家により構成される国の疾病・障害認定審査会により、因果関係を判断する審査が行われます。



## 6か月から4歳のお子様の保護者の方へ ＜新型コロナワクチン接種のご相談先＞



### ご相談先について

#### ◎ はじめに

新型コロナワクチン接種については、まず主治医や普段予防接種を受けられているかかりつけ医とよくご相談ください

そのうえで接種前の疑問や不安などがありましたら、岩手県新型コロナワクチン専門相談コールセンター（0120-89-5670、24時間対応）に御相談ください。お手元に母子健康手帳をご用意ください。看護師がオペレーターとして相談に対応します。



#### ◎ 接種券や予約方法に関する相談

接種券や予約方法に関する相談は、お住まいの市町村にお問合せください。

#### ◎ ワクチン接種後に体に異常があるときの相談

ワクチン接種後に体に異常があると感じたときは、岩手県新型コロナワクチン専門相談コールセンター（0120-89-5670）のほか、主治医やワクチンを受けた医療機関にご相談ください。

ワクチン接種前の接種全般に関する相談	→ 岩手県新型コロナワクチン専門相談コールセンター（0120-89-5670）24時間年中無休
接種券・予約方法に関する相談	→ お住まいの市町村の窓口 対応時間は各市町村のHPを御確認ください。
ワクチン接種後に体に異常があるときの相談	→ ・岩手県新型コロナワクチン専門相談コールセンター（0120-89-5670）24時間年中無休 ・主治医やワクチンを受けた医療機関

#### ◎ 基礎疾患のあるお子様の相談

基礎疾患があるお子様についても、まずは主治医に御相談ください。

その上で、接種前の疑問や不安などがございましたら、岩手県新型コロナワクチン専門相談コールセンター（0120-89-5670）に御相談ください。

相談内容に応じて、高度な専門相談が必要と判断される場合は、小児専門医による相談を受けられる場合があります。

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方についての正しい情報を確認し、保護者の方に接種をご判断いただきますようお願いいたします。保護者の方の同意なく、接種が行われることはありません。また、周りの方に接種を強制したり、接種していない人に対して差別的な対応をすることの無いようお願いいたします。

## 今秋以降の感染拡大期におけるレベル分類の見直し等について

### 1 要旨

11 月 11 日付の内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室からの事務連絡により、国の新型コロナウイルス感染症対策分科会がとりまとめた「今秋以降の感染拡大で保健医療への負荷が高まった場合に想定される対応」における、オミクロン株に対応したレベル分類の見直しと各段階における感染拡大防止措置が示されたもの。

### 2 レベル分類見直しの概要

- ・ 医療のひっ迫度に着目する基本的な考え方は維持しながら、オミクロン株に対応し、**外来医療等の状況にも着目したレベル分類へ見直し**、各段階に応じた感染拡大防止措置が示された。
- ・ レベル 3 に当たる医療負荷増大期においては、**都道府県が「対策強化宣言」を発出し**、国が当該都道府県を「対策強化地域」に位置付け、**住民に対してより慎重な行動の要請・呼びかけ**を行うことができるとされた。
- ・ また、医療負荷増大期において、感染拡大のスピードが急激な場合や、「対策強化宣言」により対策を講じても感染拡大が継続する場合には、医療ひっ迫を防ぐために、**都道府県が「医療非常事態宣言」を発出し**、**住民・事業者に対して、人との接触機会の低減について、より強力な要請・呼びかけ**を行うこととされた。

#### 対策強化宣言に係る主な要請・呼びかけの具体例

- ・ 混雑した場所や感染リスクの高い場所への外出など、感染拡大につながる行動を控える。特に、大人数の会食や大規模なイベントへの参加は見合わせることも含めて慎重に検討判断すること。
- ・ 高齢者施設等において抗原検査キット等を活用した集中的検査を推進する。

#### 医療非常事態宣言に係る主な要請・呼びかけの具体例

- ・ 外出・移動は必要不可欠なものに限ることを要請（出勤大幅抑制、帰省・旅行の自粛も要請）。
- ・ 飲食店や施設の時短・休業は要請しないが、外出自粛要請に関する理解を求める。イベントの延期等の慎重な対応を要請。